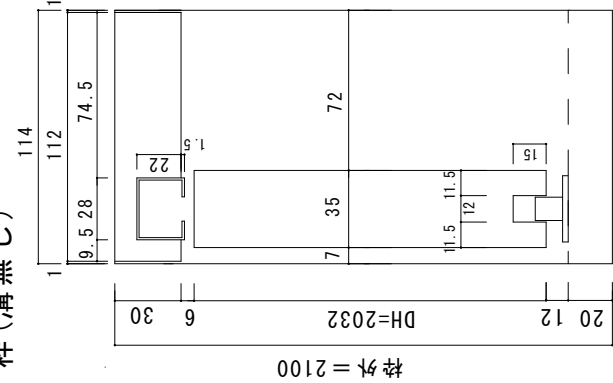
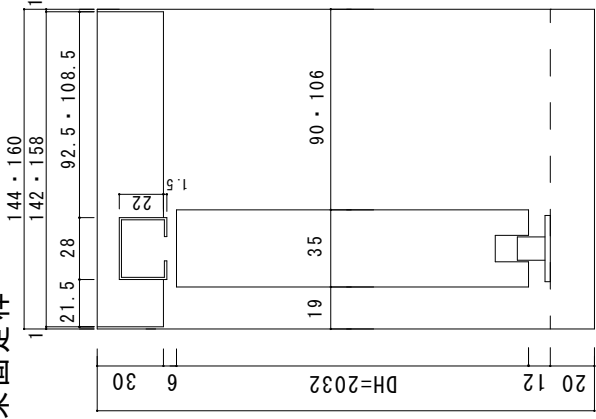
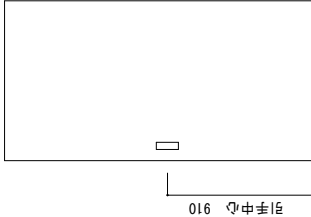
EURO TREND DOOR

設計・施工・図面集

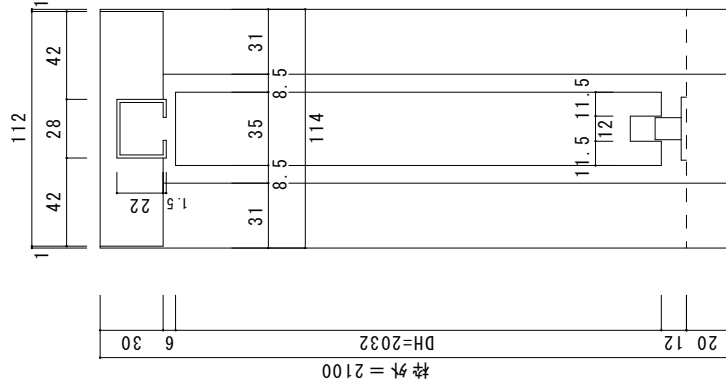
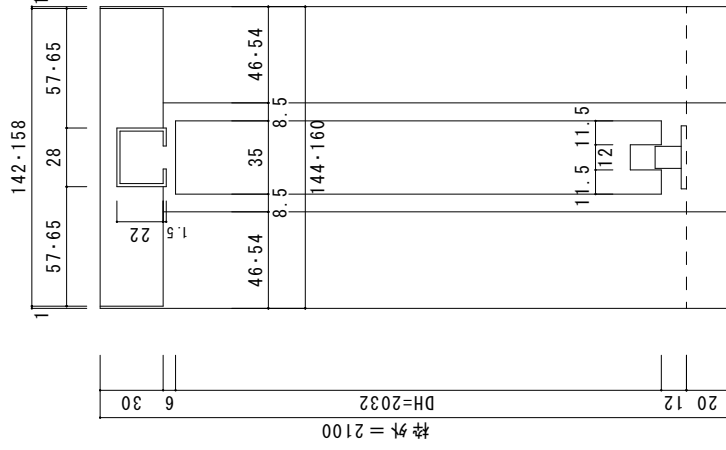
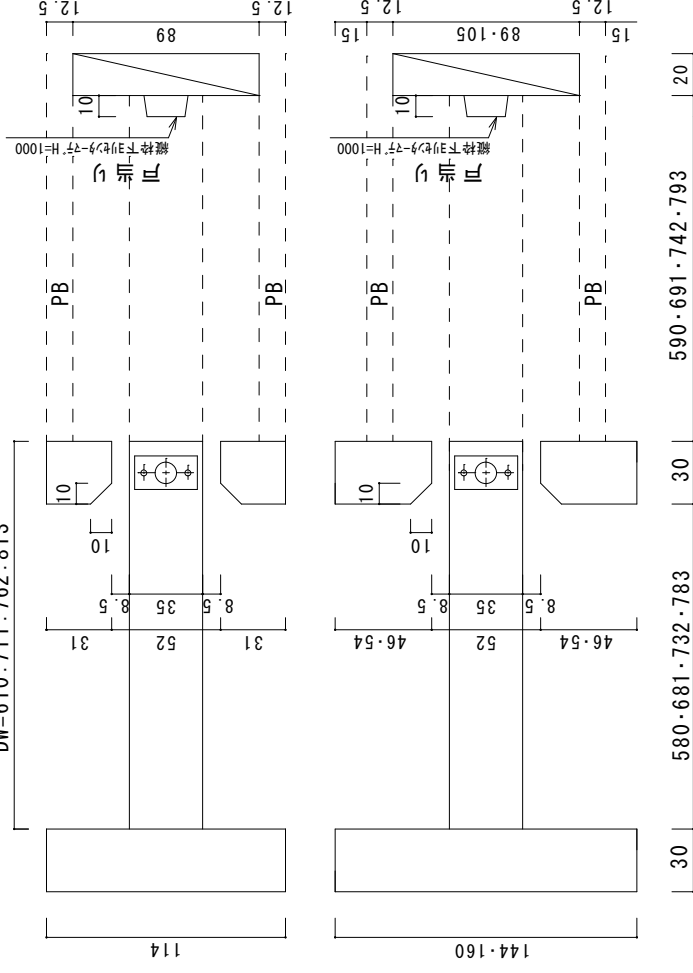
プレイリーホームズ株式会社

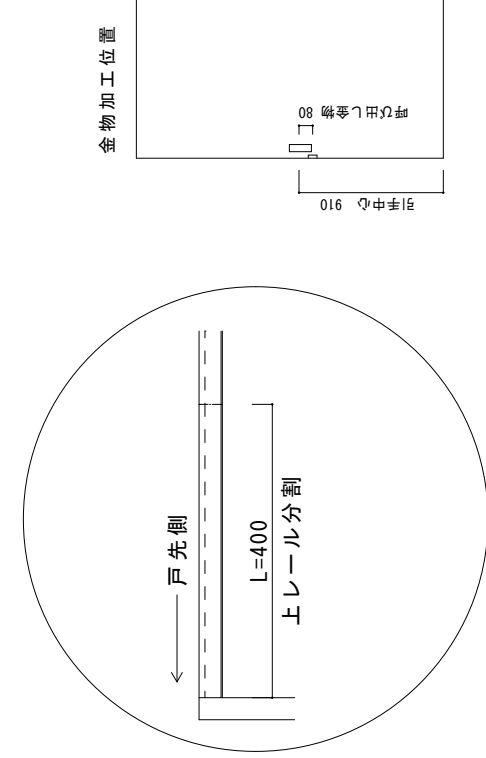
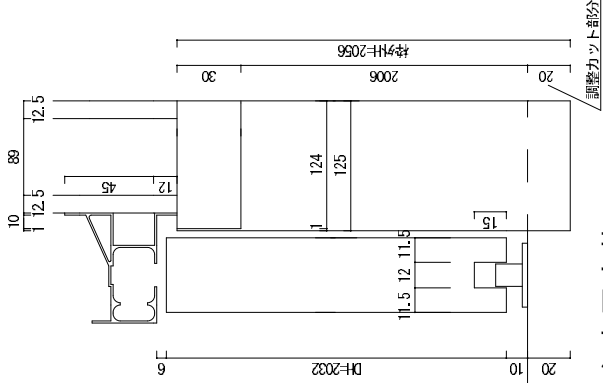
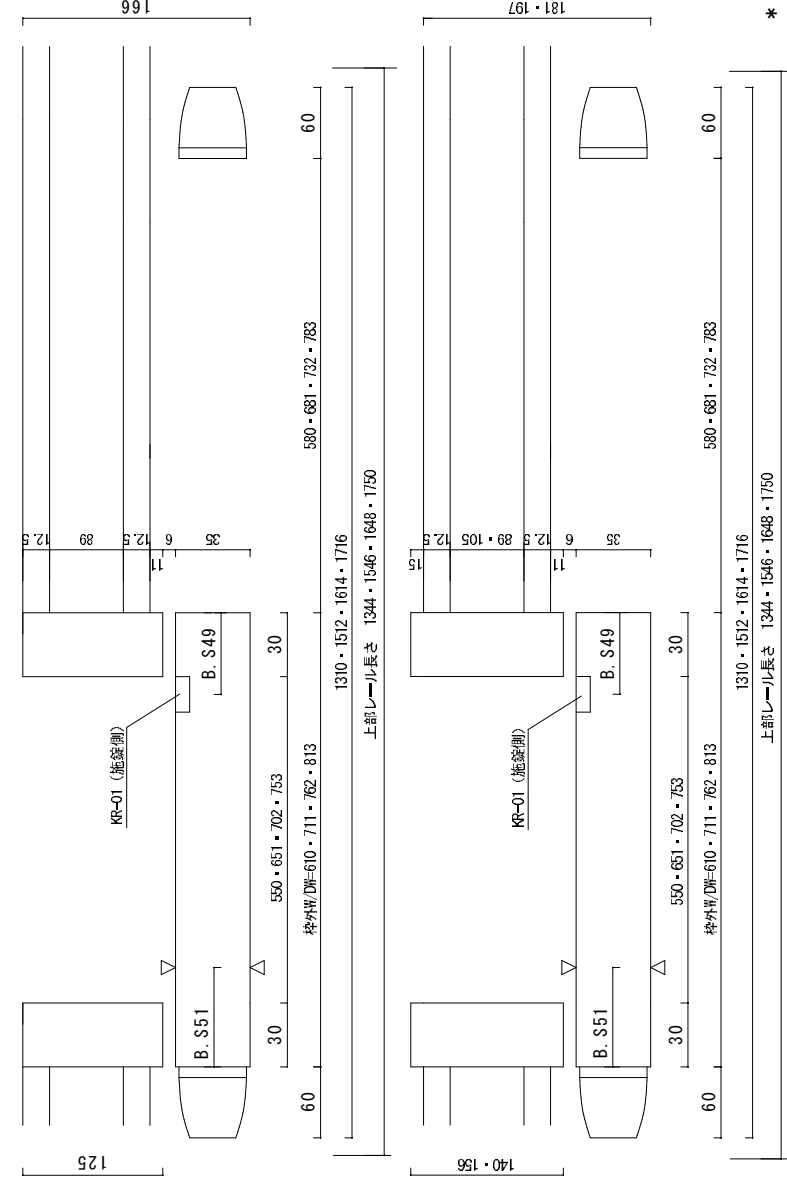
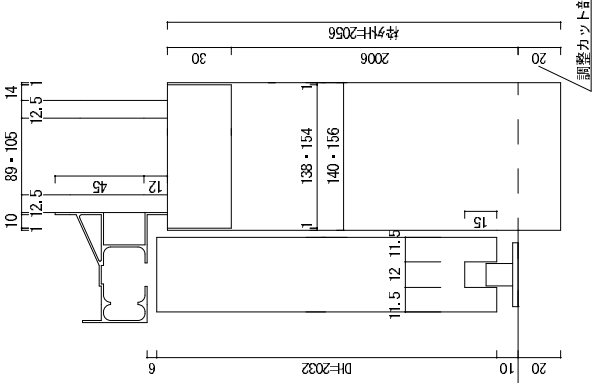
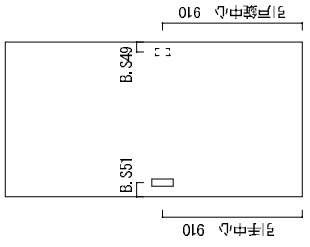
名称	メーカー名	品　番	片開き	親子･親親
レバー（空錠）	カワジュン	1-ZGC-*-LW	ｘ１	ｘ１
レバー（間仕）	カワジュン	2-ZGC-*-LW	（ｘ１）	（ｘ１）
レバー（表示）	カワジュン	3-ZGC-*-LW	（ｘ１）	（ｘ１）
レバー（ｼﾘﾝﾀﾞｰ）	カワジュン	4-ZGC-*-LW	（ｘ１）	（ｘ１）
ケース	カワジュン	LWR	ｘ１	ｘ１
調整受座	カワジュン	KLWN-42R	ｘ１	ｘ１
3方向調整丁番	アトム	*取手色に準ずる	ｘ２	ｘ４
フランス落し	アトム	ソフトフランス落し		ｘ２

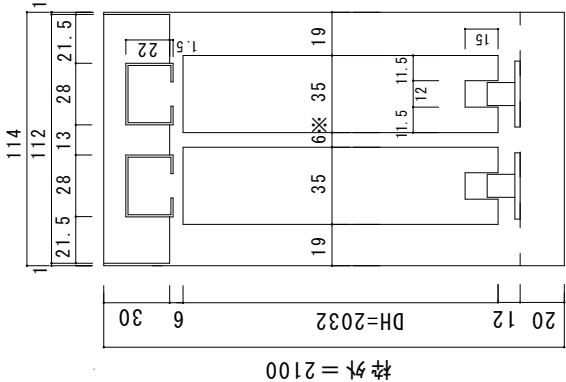
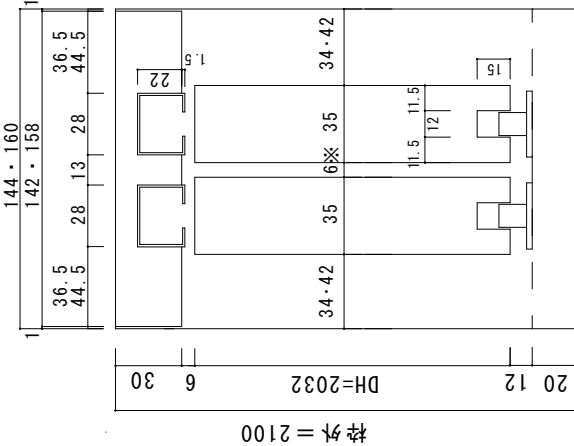
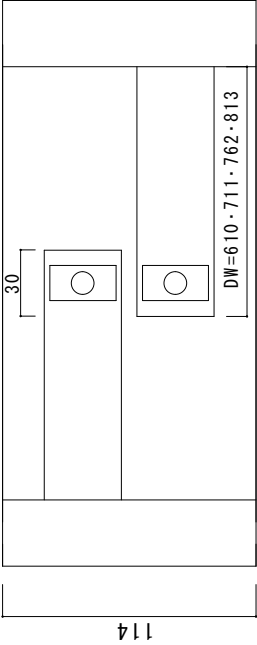
・枠に丁番加工・受座加工（丁番・受座取付け）
・ドアにロック加工・丁番加工（ケース取付け・調整プレート取付）
・枠に同梱部品（レバー）　※親子・子ﾄﾞｱにフランス落し取付け

ユーロトレンドドア　片開き・親子・親親	作成　2008.04.01	改訂 1　2011.06.01	図番
	制定	改訂 2　2014.02.10	ＰＨＷ－００１
	プレイリーホームズ株式会社	改訂 3	

名称	メーカー名	品　番	数量
引手（鍵無し）	カワジュン	PC-303-X*	ｘ１
引手（間仕錠）	カワジュン	2-KM-07-X*	（ｘ１）
引手（表示錠）	カワジュン	3-KM-07-X*	（ｘ１）
レール	アトム	HR-150　ｼﾙﾊﾞｰ（L=1800）	ｘ１
上車（引手側）	アトム	FC-292-RK(FC310)	ｘ１
上車（戸尻側）	アトム	HR-292-K	ｘ１
下部ガイド	アトム	FG-010	ｘ１
ストッパー	アトム	HR-311	ｘ１

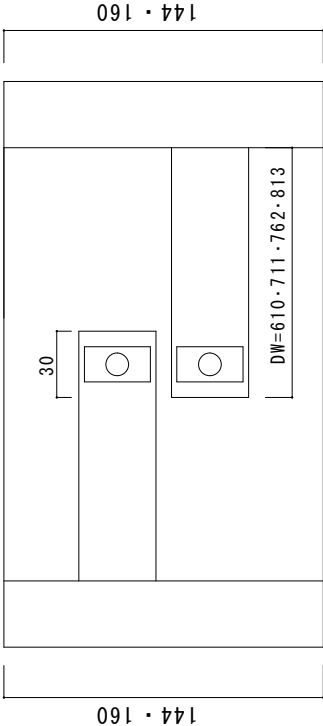
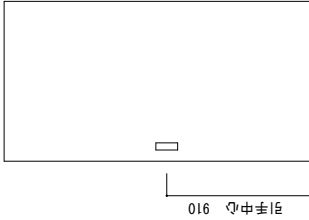
・枠に同梱（レール）※鍵付きの場合、受座取付け
・ドアに引手取付け・上車加工
・同梱部品（上車・下部ガイド）
・ドア下部にガイド溝加工

ユーロトレンドドア　片引き	作成　2008.04.01	改訂 1 2011.06.01	図番
	制定	改訂 2 2013.03.15	ＰＨＷ－００２－１
	プレイリーホームズ株式会社	改訂 3 2014.02.10	

名称	メーカー名	品　番	数量
引手（鍵無し）	カワジュン	PC-303-X*	×１
引手（間仕錠）	カワジュン	2-KM-07-X*	（×１）
引手（表示錠）	カワジュン	3-KM-07-X*	（×１）
レール	アトム	HR-150 ｼﾙﾊﾞｰ（L=400+1400）	×１
上車（引手側）	アトム	FC-292-RK(FC310)	×１
上車（戸尻側）	アトム	HR-292-K	×１
ｽﾄｯﾊﾟｰ	アトム	HR-311	×１
下部ガイド	アトム	FG-010	×１
呼び出し金物	アトム	手掛けフック WB色	×１
戸袋側ｽﾄｯﾊﾟｰ	丸喜	M-300	×１

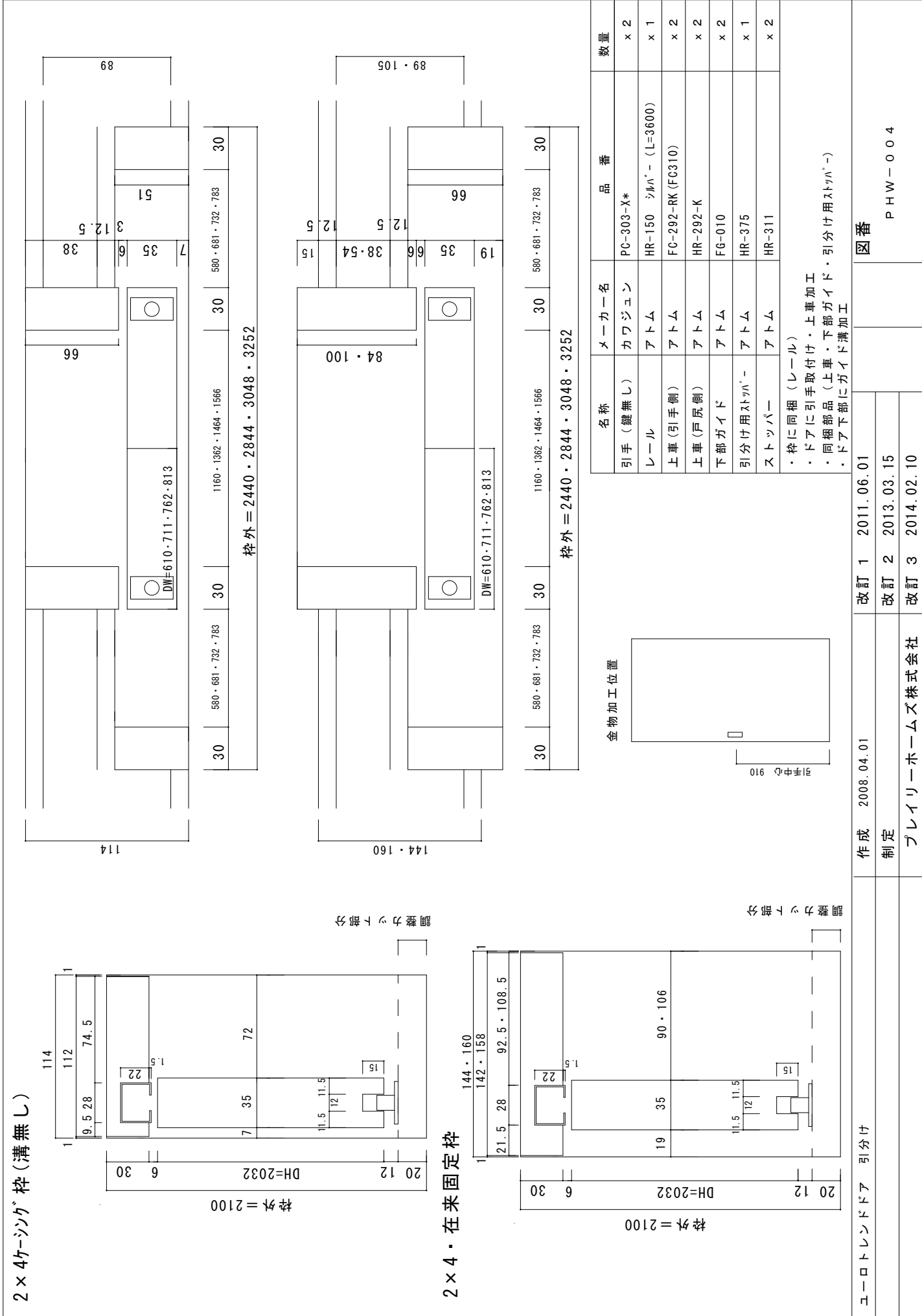
・枠に同梱（レール）※鍵付きの場合、受座取付け
・ドアに引手取付け・上車加工
・同梱部品（ストッパー・上車・下部ガイド）
・ドア下部にガイド溝加工

ユーロトレンドドア　ポケットドア	作成　2008.05.28	改訂１　2008.11.05	図番
	制定	改訂２　2011.06.01	ＰＨＷ－００７
	プレイリーホームズ株式会社	改訂３　2014.02.10	

名称	メーカー名	品　番	数量
引手（鍵無し）	カワジュン	PC-303-X*	×１
ｱｳﾄｾｯﾄ引戸錠（間仕錠）	カワジュン	2-KR-01-X*	（×１）
ｱｳﾄｾｯﾄ引戸錠（表示錠）	カワジュン	3-KR-01-X*	（×１）
ﾄﾘｶﾞｰ取付用ﾋﾞｽ	アトム	OS用ﾄﾘｶﾞｰねじｾｯﾄ	×１
化粧カバー	アトム	HR-342 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ	×１
上部レール	アトム	HR-150-OS ﾏｯﾄｼﾙﾊﾞｰ L=2400	×１
上車（引手側）	アトム	FC-292-RK(FC310)	×１
上車（戸尻側）	アトム	HR-292-K	×１
下部ガイド	アトム	FG-010	×１
上部戸当り	アトム	FK-310 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ	×２
下部戸当り	アトム	FK-320 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ	×２
ストッパー	アトム	HR-311	×１

・枠に同梱（レール）※引戸錠受け座は現場にて取り付け
・ドアに引手取付け・上車加工
・同梱部品（上車・下部ガイド・上下部戸当り・ストッパー・化粧カバー）
・ドア下部にガイド溝加工

ユーロトレンドドア　アウトセット片引き	作成　2013.12.06	改訂 1 2014.02.10	図番
	制定	改訂 2 2014.08.01	PHW−002−2
	プレイリーホームズ株式会社	改訂 3	

名称	メーカー名	品　番	数量
引手（鍵無し）	カワジュン	PC-303-X*	ｘ２
レール	アトム	HR-150　ｼﾙﾊﾞｰ（L=1800）	ｘ２
上車（引手側）	アトム	FC-292-RK(FC310)	ｘ２
上車（戸尻側）	アトム	HR-292-K	ｘ２
下部ガイド	アトム	FG-010	ｘ２
ストッパー	アトム	HR-311	ｘ２

・枠に同梱（レール）
・ドアに引手取付け・上車加工
・同梱部品（上車・下部ガイド）
・ドア下部にガイド溝加工

ユーロトレンドドア　引違い	作成　2008.04.01	改訂 1　2011.06.01	図番
	制定	改訂 2　2013.03.15	ＰＨＷ－００３
	プレイリーホームズ株式会社	改訂 3　2014.02.10	

名称	メーカー名	品　番	数量
引手（鍵無し）	カワジュン	PC-303-X*	×2
レール	アトム	HR-150 ｼﾙﾊﾞｰ（L=3600）	×1
上車(引手側)	アトム	FC-292-RK(FC310)	×2
上車(戸尻側)	アトム	HR-292-K	×2
下部ガイド	アトム	FG-010	×2
引分け用ｽﾄｯﾊﾟｰ	アトム	HR-375	×1
ストッパー	アトム	HR-311	×2

・枠に同梱（レール）
・ドアに引手取付け・上車加工
・同梱部品（上車・下部ガイド・引分け用ｽﾄｯﾊﾟｰ）
・ドア下部にガイド溝加工

ユーロトレンドドア　引分け	作成　2008.04.01	改訂 1　2011.06.01	図番
	制定	改訂 2　2013.03.15	PHW－004
	プレイリーホームズ株式会社	改訂 3　2014.02.10	

名称	メーカー名	品番	数量
引手（鍵無し）	カワジュン	PC-303-X*	×２
レール	アトム	HR-150 ｼﾙﾊﾞｰ（L=2700）	×２
上車（引手側）	アトム	FC-292-K-H(FC310)	×２
上車（戸尻側）	アトム	HR-292-K	×２
床付けガイド	アトム	FG-990	×１
ガイドピース	アトム	FG-960	×１
引戸下溝補強金具	アトム	引戸下溝補強金具	×４
ストッパー	アトム	HR-311	×２

・枠に同梱（レール）
・ドアに引手取付け・戸車加工・上車加工・引戸下溝補強金具取付け
・ガイドピース用ビス穴あけ加工・ドア下部にガイド溝加工
・ドア同梱部品（ガイド・上車・ガイドピース）

ユーロトレンドドア　２本引込み	作成　2008.04.01	改訂１　重なり102mmに変更	図番 PHW－００５
	制定	改訂２　2011.06.01	
	プレイリーホームズ株式会社	改訂３　2014.02.10	

名称	メーカー名	品　番	数量
引手（鍵無し）	カワジュン	PC-303-X*	x 4
レール	アトム	HR-150　ｼﾙﾊﾞｰ（L=3600）	x 2
上車(引手側)	アトム	FC-292-RK(FC310)	x 4
上車(戸尻側)	アトム	HR-292-K	x 4
下部ガイド	アトム	FG-010	x 4
引分け用ｽﾄｯﾊﾟｰ	アトム	HR-375	x 2
ストッパー	アトム	HR-311	x 2

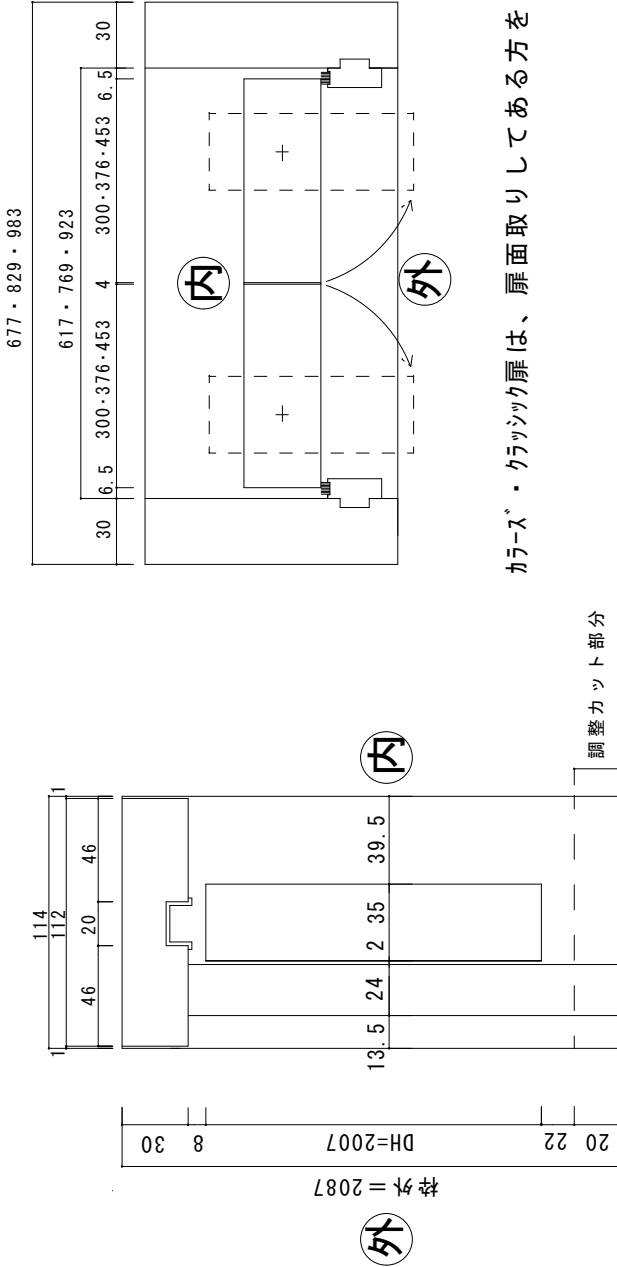
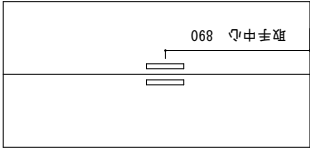
・枠に同梱（レール）
・ドアに引手取付け・上車加工
・同梱部品（上車・下部ガイド・引分け用ｽﾄｯﾊﾟｰ）
・ドア下部にガイド溝加工

ユーロトレンドドア　４本引違い	作成　2008.04.01	改訂 1　2006.06.01	図番
	制定	改訂 2　2013.03.15	ＰＨＷ－００６
	プレイリーホームズ株式会社	改訂 3　2014.02.10	

名称	メーカー名	品　番	2枚折戸	4枚折戸
取手	カワジュン	PC-166-X*	x 1	x 2
上レール	アトム	HD-01　ｼﾙﾊﾞｰ（L=910･1820）	L=910	L=1820
上ピポット	アトム	HD-14	x 1	x 2
上ピポット受け	アトム	HD-11	x 1	x 2
下ピポット	アトム	HD-13	x 1	x 2
下ピポット受け	アトム	HD-15	x 1	x 2
案内ランナー	アトム	HD-21	x 1	x 2
丁番	アトム	HD-35	x 3	x 6
振止め金具	中尾製作所	NP-61	x 1	x 2

・枠に同梱（レール）・同梱部品（ピポット関連・取手・振止め金具）
・扉にピポット加工有り・丁番取付け

ユーロトレンドドア　折れ戸	作成　2008.04.01	改訂 1　2011.06.01	図番
	制定	改訂 2　2014.02.10	ＰＨＷ－００８
	プレイリーホームズ株式会社	改訂 3	

共通固定枠(溝無し)

カラーズ・クラッシック扉は、扉面取りしてある方を　外側とする。

名称	メーカー名	品　番	数量
取手	カワジュン	PC-166-X*	x 2
上レール	アトム	HD-01　シルバー（L=910·1820）	L=910
上ピポット	アトム	HD-14	x 2
上ピポット受け	アトム	HD-11	x 2
下ピポット	アトム	HD-13	x 2
下ピポット受け	アトム	HD-15	x 2
開き戸用キャッチ	アトム	HD-100	x 2

枠同梱（レール）・同梱部品（ピボット関連・取手・開き戸用キャッチ）

扉にピポット加工有り。

ユーロトレンドドア　物入れ両開き	作成　2008.04.01	改訂 1 20100304 裏加工追加	図番 PHW－009
	制定	改訂 2　2011.06.01	
	プレイリーホームズ株式会社	改訂 3　2014.02.10	

3方向調整丁番

使用条件

一般住宅屋内用木製ドア（浴室には使用できません。）
◇対応ドア厚:33mm·36mm·38mm（38mmはシルバー色塗装のみ）
◇ドア質量:総質量で25kg以下（ドア幅800mm以下×ドア高さ2000mm以下·丁番2ヶ使用の場合）
◇左右勝手あり:本品は左右勝手があります。ご注文の際は必ず、左右いずれかを明示してください。
（ドアが手前に開く側から見て、左側に丁番が付く場合を左勝手、その反対を右勝手と呼びます。）

施工ガイド

■金具の取付け方法

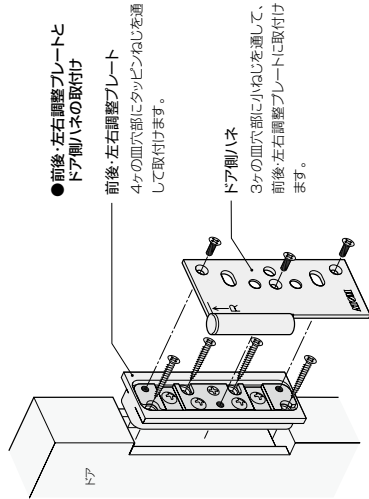
①ドアの加工部に前後·左右調整プレートを取付けます。
②ドア側ハネを前後·左右調整プレートに取付けます。
③縦枠に枠側ハネを取付けます。

●前後·左右調整プレートとドア側ハネの取付け

前後·左右調整プレート

4ヶの皿穴部にタッピンねじを通して取付けます。

ドア側ハネ

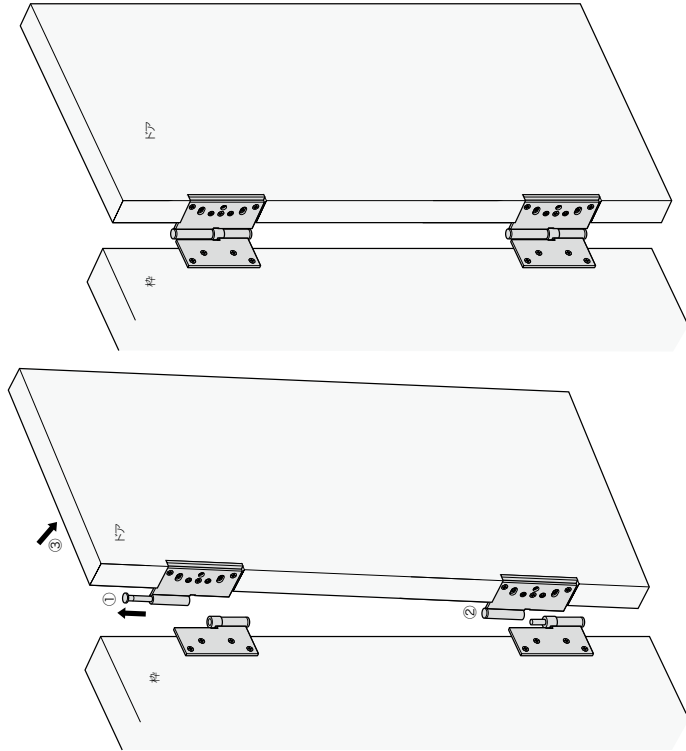
3ヶの皿穴部に小ねじを通して、前後·左右調整プレートに取付けます。

■吊込み手順

①上用丁番の軸心棒を引き出します。
②ドアが上枠に当たらないようにドアをやや傾けながら、下用丁番から差し込みます。
③ドアをまっすぐに立てて上用丁番の位置合わせをしてから、軸芯棒を下げて上用丁番の結合を行います。
④最後に建付けと軸芯カバーの調整をして完了です。

3方向調整丁番

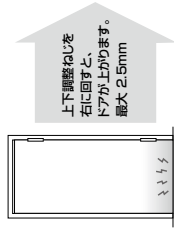
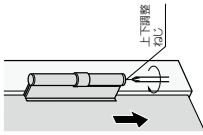
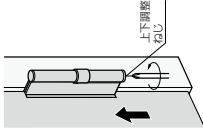
上下調整方法

ドアの上部が枠に当たる

上下調整ねじを左に回すと、ドアが下がります。最大 2.5mm

●下用丁番の上下調整ねじを左に回すと、ドアは下がります。

上下調整ねじ

ドアの下部が床をこする

上下調整ねじを右に回すと、ドアが上がります。最大 2.5mm

●下用丁番の上下調整ねじを右に回すと、ドアは上がります。

上下調整ねじ

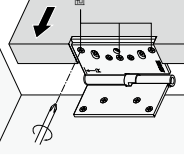
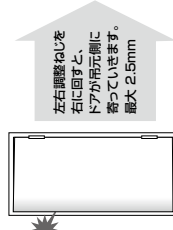
左右調整方法

ドアの開き側が枠に当たる

左右調整ねじを右に回すと、ドアが吊元側に寄っていきます。最大 2.5mm

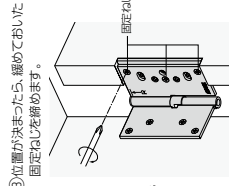
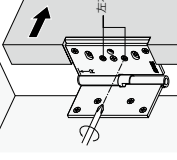
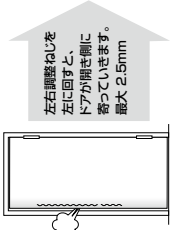
①ドアを移動させたい分量まで、左右調整ねじを右に回しておきます。（左右調整ねじ）
②ドア側ハネの固定ねじを締めると、ドアは吊元側に移動します。（固定ねじ）

ドアの開き側のすきまが大き過ぎる

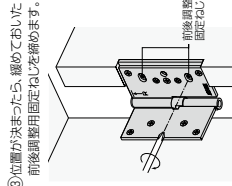
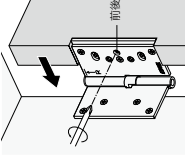
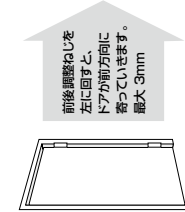
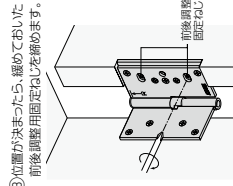
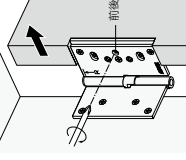
左右調整ねじを左に回すと、ドアが開き側に寄っていきます。最大 2.5mm

①ドア側ハネの固定ねじを緩めておきます。（固定ねじ）
②左右調整ねじを左に回して、ドアを開き側に移動します。（左右調整ねじ）
③位置が決まったら、緩めておいた固定ねじを締めます。（固定ねじ）

前後調整方法

ドアが後に下がり過ぎている

前後調整ねじを左に回すと、ドアが前方向に寄っていきます。最大 3mm

①ドア側ハネの前後調整用固定ねじを緩めておきます。（前後調整用固定ねじ）
②前後調整ねじを左に回して、ドアを前方に移動します。（前後調整ねじ）
③位置が決まったら、緩めておいた前後調整用固定ねじを締めます。（前後調整用固定ねじ）

ドアが前に出過ぎている

前後調整ねじを右に回すと、ドアが後方向に寄っていきます。最大 1mm

①ドア側ハネの前後調整用固定ねじを緩めておきます。（前後調整用固定ねじ）
②前後調整ねじを右に回して、ドアを後方に移動します。（前後調整ねじ）
③位置が決まったら、緩めておいた前後調整用固定ねじを締めます。（前後調整用固定ねじ）

設計ガイド

■金具の納まり参考図

上部吊り車

28 天井（上枠） HR-150 23.5 HR-292-K 2 前後調整代 2 戸と上部レールのすきま寸法 5～10（製品出荷時 7.5）

28 天井（上枠） HR-150 23.5 HR-222-K 戸と上部レールのすきま寸法 5～12（製品出荷時 5）

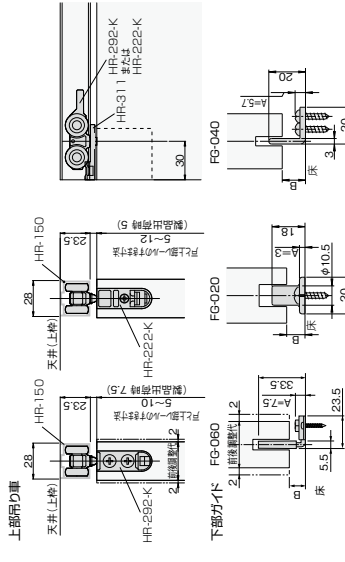
HR-311 HR-292-K または HR-222-K 30

下部ガイド

FG-060 2 前後調整代 2 A=7.5 33.5 B 床 5.5 23.5

FG-020 A=3 18 B 床 φ10.5 20

FG-040 A=5.7 20 B 床 3 20

●戸の高さ寸法の求め方

戸の高さ=枠の内寸高さ−23.5mm（上部レール）
−戸と上部レールの最大すきま寸法（左図参照）−3mm−A

※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で戸の上下調整ができます。
※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

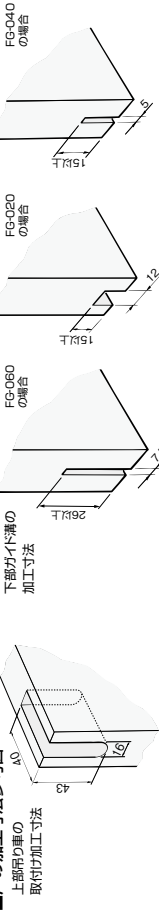
●B（下すきま寸法）の求め方

B=枠の内寸高さ−戸の高さ−23.5mm（上部レール）
−戸と上部レールのすきま寸法

※戸と上部レールのすきま寸法は、左図参照の範囲内で任意の寸法を設定できます。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車の取付け加工寸法

下部ガイド溝の加工寸法

施工ガイド

■金具の取付け方法

1.上部吊り車の取付け

①上部吊り車は、ホルダー部のレバーをつまんで、固定カップ部とホルダー部を分離します。
②固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。

3.キャッチの取付け

①キャッチは、レールを取付けた後に装着する事ができます。

2.レールの取付け

①レールを取付ける前に、図に示す方向で、上部吊り車をレール内に挿入します。
②上枠にレールを取付けてください。

4.下部ガイドの取付け

①下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。
垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

■戸の吊込み

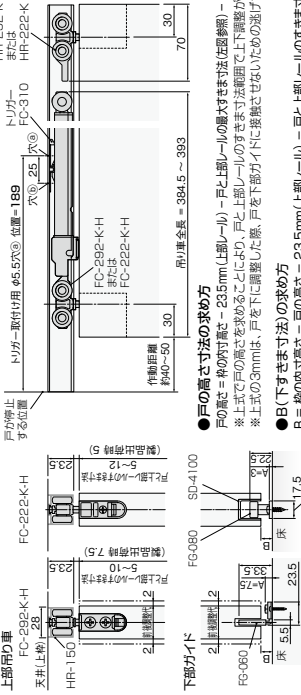
①下部ガイドに戸のガイド溝を差し込みます。
②固定カップ部に、ホルダー部をしっかりと差し込みます。
※しっかりと差し込み、抜けないことをご確認ください。

■戸の位置調整

①戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回せば、戸の左右調整、下のねじを回せば戸の上下調整ができます。

設計ガイド

■金具の納まり参考図

上部吊り車

下部ガイド

●戸の高さ寸法の求め方

戸の高さ = 枠の内寸高さ − 23.5mm（上部レール）− 戸と上部レールの最大すきま寸法（左図参照）− 3mm − A

※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で上下調整ができます。
※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

●B（下すきま寸法）の求め方

B = 枠の内寸高さ − 戸の高さ − 23.5mm（上部レール）− 戸と上部レールのすきま寸法

※戸と上部レールのすきま寸法は左図参照の範囲内で任意の寸法を設定できます。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車の取付け加工寸法

下部ガイド溝の加工寸法

施工ガイド

■金具の取付け方法

1.上部吊り車の取付け

①上部吊り車ホルダー部のレバーをつまんで、ホルダー部とカップ部を分離します。
②カップ部のみ戸の木口加工部に取付けてください。

2.レールの穴あけ

①レール芯の所定位置ⓐⓑにφ5.5の貫通穴をあけます。（2ヶ所）

ご注意

レール内に残った切り粉は取除いてください。

3.レールの取付け

①スライダーが図の位置になっているか確認します。
なっていなければ、押して戻しておきます。

ご注意

ソフトクローズを正しく作動させるために、必ず確認してください。

②レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
③上枠にレールを取付けてください。

4.トリガーの取付け

①トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
②「2.レールの穴あけ」であけた穴ⓐに上記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。

ご注意

※治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当てて続けてください。
※トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。

※必ず手回しドライバーで締め付けてください。
※トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。

③完全に固定されたら、取付け治具を下に引き抜き、残りの穴ⓑをねじ止めしてください。

5.下部ガイドの取付け

①下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。
垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

■戸の吊り込み

①下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差し込みます。
②カップ部にホルダー部をしっかりと差し込みます。
※しっかりと差し込み、抜けないことをご確認ください。

■戸の位置調整

①戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと戸の左右調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。

※ソフトクローズの速度調整はできません。

使用条件 一般住宅屋内用木製引戸（浴室には使用できません。） ◇引戸の総質量:30kg（引戸1枚） ◇引戸の厚さ:24mm～40mm
◇引戸の最小幅:790mm ◇使用温度範囲:5℃～40℃ ◇クローズ速度調整:調整できません

設計ガイド

■金具の納まり参考図

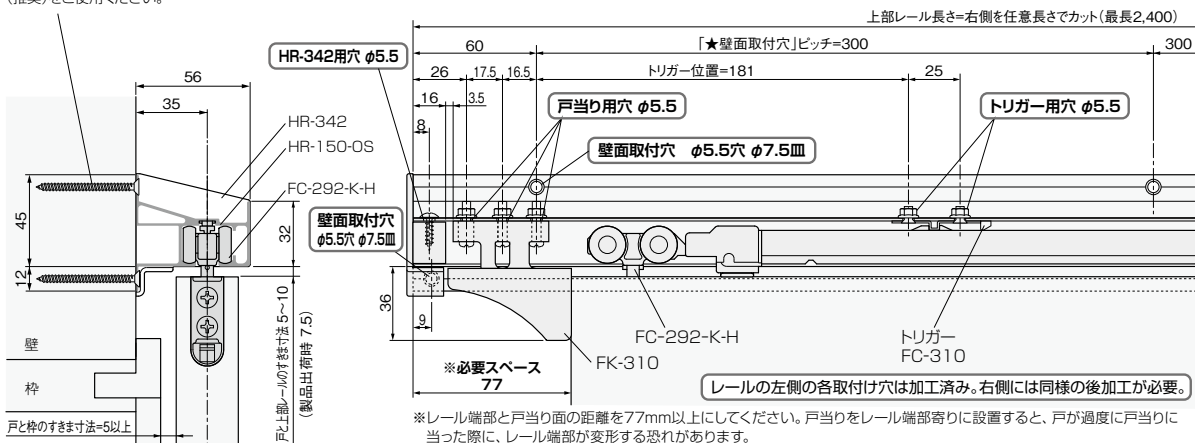
※吊り車や下部ガイドの詳細は、667ページをご参照ください。

上部レールおよび吊り車

※図はレール左側をあらわしております。右側は左右対称となります。

レール加工時のご注意

- レールには左右勝手があります。正面から見て左側の取り付け穴を基準に施工しますので、レールをカットする場合は右側をカットしてください。
- 「★壁面取付穴」と左側の各取付け穴は加工済みです。右側の穴はすべて別途穴加工が必要となります。
- 図はレール左側の穴加工位置です。右側にも左右対称となる位置に同様の穴加工をしてください。
- 左端部から10mmと60mmの位置にある壁面取付穴は、右端部にはありませんので、レールカット後、同様の位置に穴加工をしてください。

※レール端部と戸当り面の距離を77mm以上にしてください。戸当りをレール端部寄りに設置すると、戸が過度に戸当りに当った際に、レール端部が変形する恐れがあります。

施工ガイド

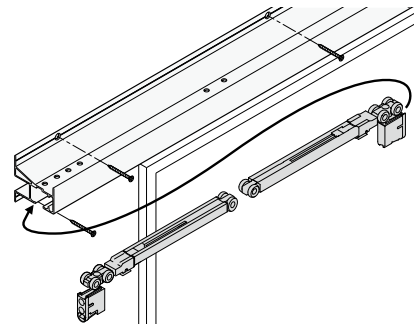
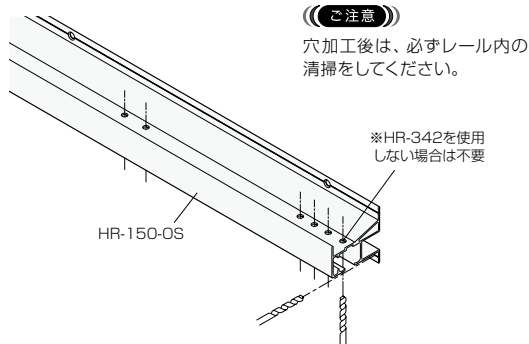
■金具の取付け方法

※吊り車や下部ガイドの詳細は、667ページをご参照ください。

1.レールの取付け

①レールの右側を任意長さでカット後、「設計ガイド」の加工寸法を参考に、レールの右側に穴加工をします。戸当りやトリガー用の穴は上部レールの内側から加工します。

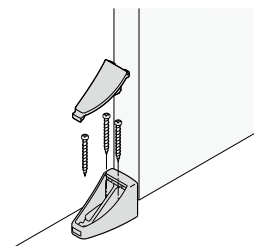
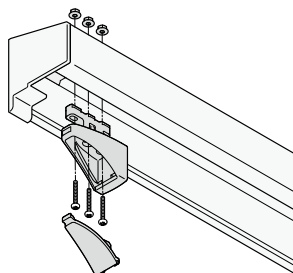
ご注意
穴加工後は、必ずレール内の清掃をしてください。

②上部吊り車をレールに挿入し、レールを壁面に固定します。HR-342を使用する場合はこの時に取付けます。

2.戸当りの取付けと戸の吊込み

①上部戸当りをレールに取付けます。

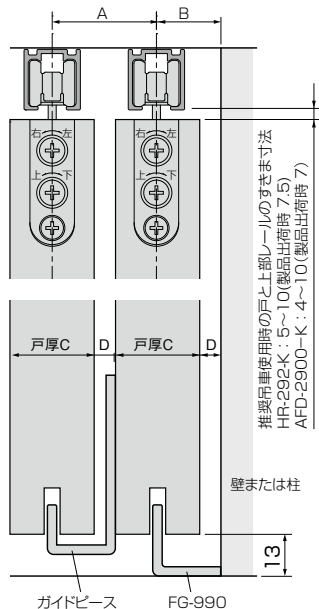
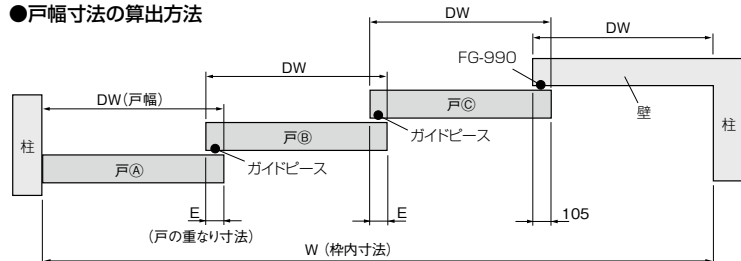
②667ページを参考に、トリガーと下部ガイドを取付け、戸を吊り込みます。

③667ページを参考に、戸の位置調整をし、ソフトクローズの初回動作を確認します。

④下部戸当りを上部戸当りと位置を合わせ、床に取付けます。

連動引戸金具 FG-900

設計ガイド

■金具の納まり参考図

●上下及び側面の納まり寸法

●戸幅寸法の算出方法

※ 戸の重なり寸法は、各ガイドがエンドクッションに入り込むために必要な寸法です。

■表記訂正（12/11/12）

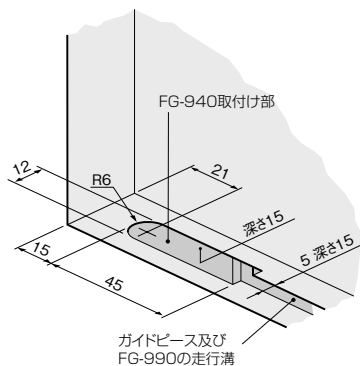
$$戸幅\ DW = \frac{枠内寸法W + \{ (戸の枚数-1) \times 戸の重なり代\ E + 105 \}}{戸の枚数 + 1}$$

ガイドピース	A	B	戸厚C	D	E
FG-980 (27-7)	34	20.5	27	7	105
FG-970 (30-7)	37	22	30	7	
FG-960 (30-9)	39	24	30	9	
FG-950 (33-7)	40	23.5	33	7	80

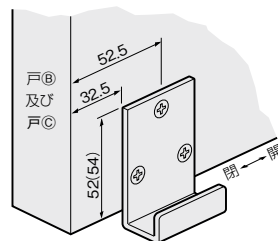
ご注意

●正常に引戸を連動させるために、床と戸のスキマは13mmになるようにしてください。
●吊車の上下調整を行う際に、ガイドピースが戸や床に接触しないようにしてください。
また、FG-990が戸に接触しないようにしてください。
●幅と高さの比率が約1：5を超えるような引戸を使用して連動させた場合、動作が不安定になる場合があります。

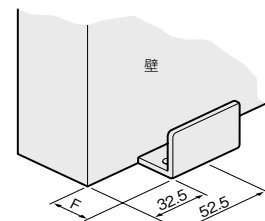
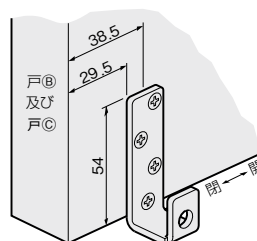
■戸下面の加工寸法参考図

ガイドピース及びFG-990の走行溝

■金具の取付け位置

●ガイドピースの取付け（戸Ⓑと戸Ⓒの閉じ側先端部）

FG-980･FG-970･FG-960の場合

※カッコ内寸法はFG-970の場合

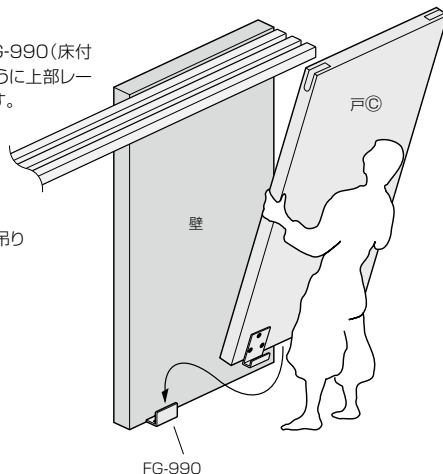
FG-950の場合

●FG-990の取付け

※F= FG-980=22
FG-970=23.5
FG-960=25.5
FG-950=25

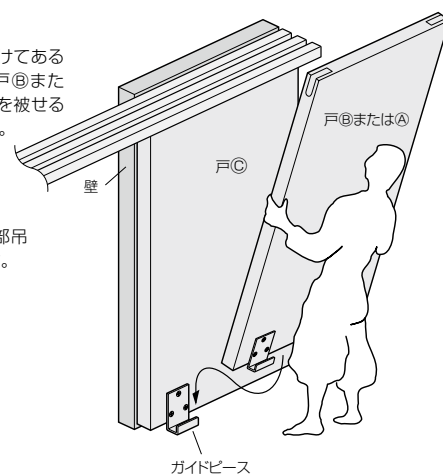
施工ガイド

■戸の吊込み

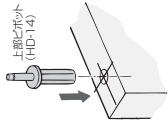
①戸Ⓒの下部溝をFG-990（床付ガイド）に被せるように上部レールの下に設置します。

②戸とレール内上部吊り車を接続します。

③戸Ⓒ先端に取付けてあるガイドピースに戸Ⓑまたは戸Ⓐの下部溝を被せるように設置します。

④戸とレール内上部吊り車を接続します。

施工ガイド

■金具の取付け方法

戸に付ける金具の取付け

●丁番を所定の位置に取り付けます。
●戸に加工した穴に、下部ピボット(HD-13またはHD-16)、上部ピボット(HD-14)、案内ランナー(HD-21)を挿入します。

レールの取付け

●上レールを取り付ける前に、ピボット受け金具(HD-11)を上レール内に挿入しておきます。(ゴムストッパーHD-12を使用する場合は、それも先に挿入しておきます)
●それからレールを取り付けてください。

下部ピボット受け金具の取付け

●ピボット受け金具(HD-15)を床(または下枠)と縦枠に木ねじ止めします。

■戸の吊込み

●ピボット受け金具(HD-11)は上レールに固定しないでフリーの状態にして、図①のように、下部ピボット受け金具(HD-15)よりも開き側の方へずらしておきます。
●戸を傾けて、下部ピボットをピボット受け金具(HD-15)に入れます。(図①)
●図②のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上レール内のピボット受け金具(HD-11)に、次に上の案内ランナーを上レールに入れます。
●吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をスパナでしっかりと固定してください。(図③)

図①
ピボット受け金具(HD-11)　上部ピボット(HD-14)　上レール(HD-01)　案内ランナー(HD-21)　下部ピボット(HD-13)　吊元側　下部ピボット受け金具(HD-15)　開き側

図②
吊元側　開き側

図③

■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合
➡下部ピボットで、上下調整をしてください

●戸を閉めた状態のまま、下部ピボットの調整部をスパナ(HD-61)で回していけば、戸が上下します。

戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合
➡ピボット受け金具で、左右調整をしてください

●例えば戸が図のように傾いている場合は、上レールのピボット受け金具(HD-11)を吊元側に寄せ、下のピボット受け金具(HD-15)のプレート部を開き側に寄せて調整します。

設計ガイド

■金具の納まり参考図

天井(上枠)　HD-01　1.5　6.5～10.5 ご注意参照　吊元側　開き側　HD-11　HD-14　HD-21　30

吊元側下部にHD-13
床面にHD-15を
使用の場合

20～24 ご注意参照　HD-13　HD-15　30　床(下枠)

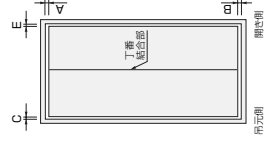
吊元側下部にHD-16
床面にHD-15NLを
使用の場合

13～17 ご注意参照　HD-16　HD-15NL　30　床(下枠)

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法

●上のすきま(レールと戸の間のすきま)
A=上レールと戸とのすきま寸法=6.5～10.5
●下のすきま(床と戸の間のすきま)
B=HD-13,HD-15の組合せの場合のすきま寸法=20～24
B=HD-16,HD-15NLの組合せの場合のすきま寸法=13～17

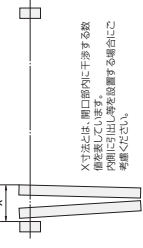
ご注意
上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=26.5mm、HD-16,HD-15NLの組合せの場合は19.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=34.5mm、HD-16,HD-15NLの組合せの場合は27.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法
(HD-13,HD-15の組合せの場合)NL26.5mm<上下のすきま<34.5mm
(HD-16,HD-15NLの組合せの場合)19.5mm<上下のすきま<27.5mm
上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設定しております。
すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

●左右のすきま(折戸1組の場合)
E(開き側すきま寸法)
使用丁番：HD-35、(　)内はHD-38

戸厚／戸幅	300	350	400	450
20	1.9(2.3)	1.6(1.9)	1.4(1.7)	1.3(1.5)
23	2.3(2.7)	2.0(2.3)	1.7(2.0)	1.5(1.8)
27	2.9(3.3)	2.5(2.8)	2.1(2.5)	1.9(2.2)
30	3.4(3.8)	2.9(3.2)	2.5(2.8)	2.2(2.5)
33	3.9(4.3)	3.3(3.7)	2.9(3.2)	2.5(2.9)
35	4.2(4.7)	3.6(4.0)	3.1(3.5)	2.8(3.1)
40	5.2(5.7)	4.4(4.9)	3.8(4.2)	3.4(3.8)

C(吊元側すきま寸法)
(　)内は床面にHD-15を使用の場合

戸　厚	C
20	1.6(3.6)
23	2.1(4.1)
27	2.9(4.9)
30	3.5(5.5)
33	4.2(6.2)
35	4.7(6.7)
40	6.1(8.1)

※以上の左右すきまは「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。
※丁番結合部のすきまは0mmの設定で大丈夫です。

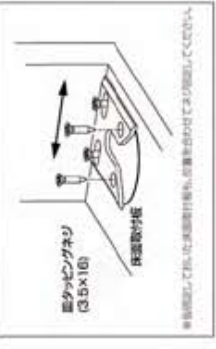
■戸を開けた時のX寸法

X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。
内側に引出し等を設置する場合にご考慮ください。

戸厚24mm以下の場合の $X = 71mm + \frac{戸厚}{2}$ +吊元側すきま寸法

戸厚24mm以上の場合の X =47mm+ 戸厚×1.5+吊元側すきま寸法

※上記計算式は「使用丁番HD-35、HD-38」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

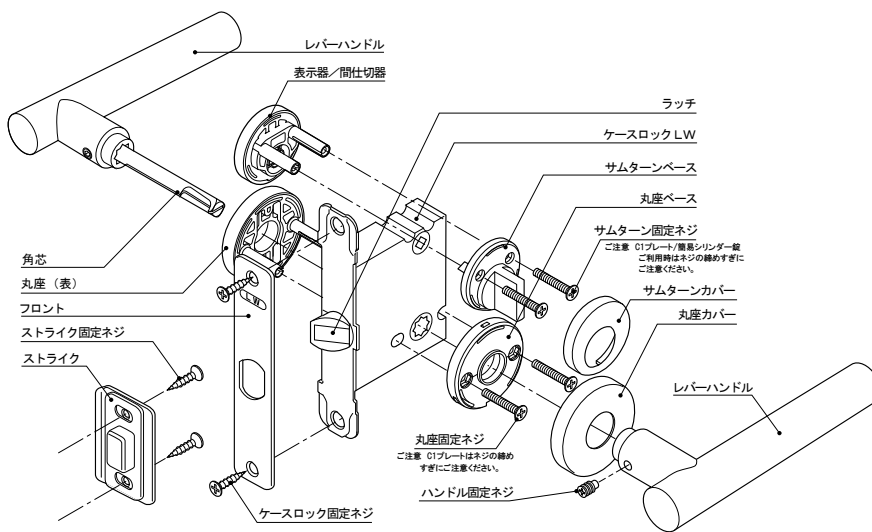
■戸先振れ止め

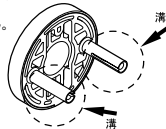
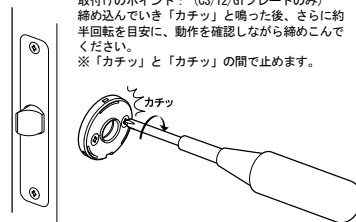
トラス木ネジ(3.1×16)
戸先振れ止め
(床面取付板)

※最後に戸先振れ止めを取付けます。
マグネット式振れ止めを所定の位置に合わせネジにて固定します。

レバーハンドル取付説明書

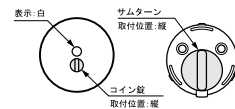
LWケースロック（丸座C1/C3/角座T2/G1プレート用）

●本説明書は取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。

●レバーハンドル・セット内容と各部の名称

●C3/T2/G1プレートの取付け

C3/T2/G1プレートの取付け座（樹脂製）
及び、表示器のボスには溝が切ってあります。
このタイプの取付け座は締め終わりを
「カチッ」と音で知らせるように
なっています。
※C1プレートには有りません。

取付けのポイント：（C3/T2/G1プレートのみ）
締め込んでいき「カチッ」と鳴った後、さらに約半回転を目安に、動作を確認しながら締めこんでください。
※「カチッ」と「カチッ」の間で止めます。

取付前の調整

表示・サムターン取付位置

ケースのラッチが開錠状態（ラッチが引込む状態）のときに
サムターン、コイン錠は最初に本図位置の状態で設置してください。
※取付け後に正常に機能しなくなる恐れがあります。

表示：白
サムターン 取付位置：縦
コイン錠 取付位置：縦

商品について

●弊社ハンドルシリーズは、すべて室内専用です。
●弊社ハンドルシリーズは、セット販売が基本です。
他社パーツとの組合せによる不具合には責任を負いかねますのでご了承ください。
●ハンドル等に付いている養生シートは工事終了まで外さないでください。
●レバーハンドルのメンテナンスは、やわらかい布などで拭くことを定期的に行ってください。汚れがひどい場合、水または中性洗剤を水で5～10%程度に薄めて浸した布をよくしぼり拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品等は使用しないでください。

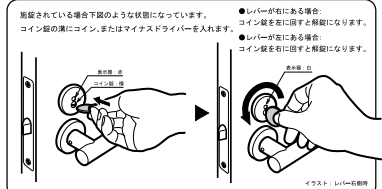
⚠ 安全に関するご注意

●取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。
また取付け後、必ず動作確認をしてください。
施工が不完全な場合ガタツキ・はずれ等によりケガをするおそれがあります。
●商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
●用途以外のご使用はしないでください。はずれ等によりケガをするおそれがあります。
●屋外など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。
部品などが腐食して、破損しやすくなりケガをするおそれがあります。
●必要以上の荷重をかけますと部品等がはずれ、ケガなどの原因になりますのでご注意ください。

表示器側からの解錠の手順（緊急時）※室内側から鍵が掛かってしまった場合。

施錠されている場合下図のような状態になっています。
コイン錠の溝にコイン、またはマイナスドライバーを入れます。

●レバーが右にある場合：
コイン錠を左に回すと解錠になります。
●レバーが左にある場合：
コイン錠を右に回すと解錠になります。

表示器：赤
コイン錠：横
表示器：白
イラスト：レバー右側時

※丸座タイプと角座タイプの取付け方法は共通です。
（イラストは丸座タイプ）

KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

レバーハンドル取付説明書　LZLWR42T・LZLWK42T

LWケースロック（長座R・Kプレート用）

●本説明書は取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。

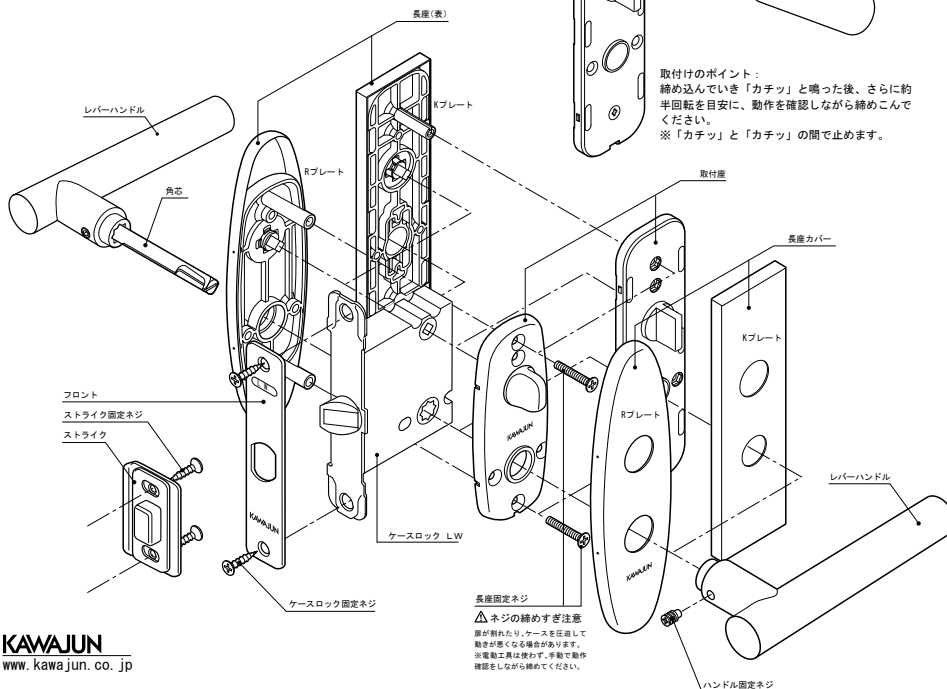
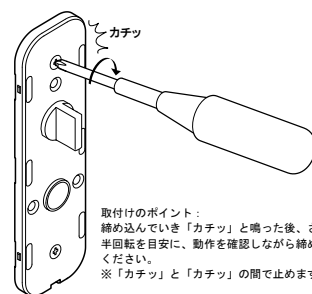
●レバーハンドル・セット内容と各部の名称

Kプレート取付け

Kプレートの取付け座（樹脂製）のボスには溝が切ってあり、締め終わりを「カチッ」と音で知らせるようになっています。
※Rプレートは対応しておりません。

取付けのポイント：
締め込んでいき「カチッ」と鳴った後、さらに約半回転を目安に、動作を確認しながら締めこんでください。
※「カチッ」と「カチッ」の間で止めます。

⚠ネジの締めすぎ注意

扉が割れたり、ケースを圧迫して動きが悪くなる場合があります。
※電動工具は使わず、手動で動作確認をしながら締めてください。

KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

R・Kプレート取付け前の調整

サムターン、コイン錠は取付前に下図位置の状態に調整してください。取付後に正常に機能しなくなる恐れがあります。

商品について

●弊社ハンドルシリーズは、すべて室内専用です。
●弊社ハンドルシリーズは、セット販売が基本です。
他社パーツとの組合せによる不具合には責任を負いかねますのでご了承ください。
●ハンドル等に付いている養生シートは工事終了まで外さないでください。
●レバーハンドルのメンテナンスは、やわらかい布などで拭くことを定期的に行ってください。汚れがひどい場合、水または中性洗剤を5～10%程度に希釈したもので拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品等は使用しないでください。

⚠ 安全に関するご注意

●取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。
また取付け後、必ず動作確認をしてください。
施工が不完全な場合ガタツキ・はずれ等によりケガをするおそれがあります。
●商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
●用途以外のご使用はしないでください。はずれ等によりケガをするおそれがあります。
●屋外など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。
部品などが腐食して、破損しやすくなりケガをするおそれがあります。
●必要以上の荷重をかけますと部品等がはずれ、ケガなどの原因になりますのでご注意ください。

表示器側からの解錠の手順（緊急時）※室内側から鍵が掛かってしまった場合。

施錠されている場合下図のような状態になっています。
コイン錠の溝にコイン、またはマイナスドライバーを入れます。

●レバーが右にある場合：
コイン錠を左に回すと解錠になります。
●レバーが左にある場合：
コイン錠を右に回すと解錠になります。

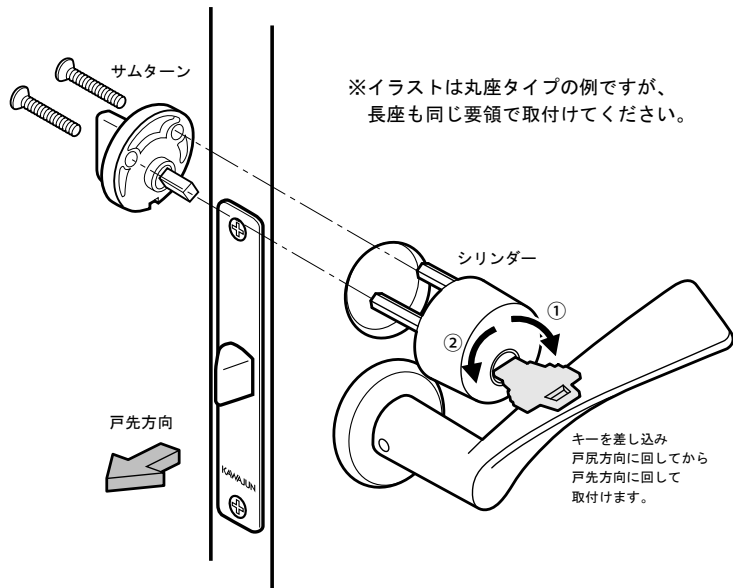
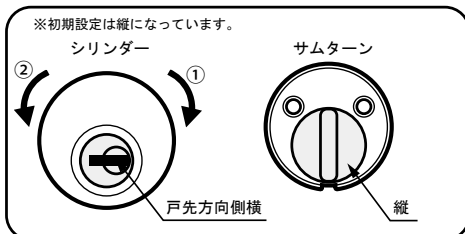
レバーハンドル取付説明書

簡易シリンダー錠（丸座・長座兼用）

KAWAJUN

施工の手順 ※誤った取付けを行いますと正常に作動しませんのでご注意ください。

1. はじめにロックケースがロックされてないか確認してください。
2. シリンダーに付属のキーを差し込み、取付ける扉の戸尻方向側に回してから、戸先方向側に回します（横位置）。
3. サムターンはツマミを縦位置にしておきます。シリンダーとサムターンの位置を確保しながら取付けてください。
4. サムターンのカバーを取付ける前に鍵が正常にロック・解除できるか動作確認を行ってください。

取付前のシリンダー・サムターンの位置

No.002-b

鎌錠（丸座・長座）取付説明書　LZKMT

KM-01～10

当製品は、扉厚対応を角芯とネジ長さにて対応しています。下記説明図を参考に適正な部品を選んで施工してください
※対応扉厚２８～４２mm

鎌錠・セット内容と各部の名称

丸座の場合　KM-01/KM-05/KM-06/KM-09/KM-10

ストライク
鎌錠ケースロック
表示（表）
サムターン（裏）
角芯-短（扉厚２８～３３mm用）
角芯-中（扉厚３３～３８mm用）
角芯-長（扉厚３８～４２mm用）
木ねじ
取付けねじ（短）（扉厚２８～３６mm用）
取付けねじ（長）（扉厚３６～４２mm用）
表示
角芯
サムターン
取付けねじ

⚠ネジの締めすぎ注意
扉が割れたり、ケースを圧迫して動きが悪くなる場合があります。
※動作確認をしながら行ってください。

●施錠のチェック
① トリガーを押します。
② サムターンを回してください。
注）トリガーを押さえてなければ回りません。

長座の場合　KM-02/KM-04/KM-07

●KM-02/04
ストライク
鎌錠ケースロック
サムターン引手（裏）
表示引手（表）
木ねじ
角芯
表示引手
サムターン引手
取付けねじ
角芯-短（扉厚２８～３３mm用）
角芯-中（扉厚３３～３８mm用）
角芯-長（扉厚３８～４２mm用）
取付けねじ（短）（扉厚２８～３６mm用）
取付けねじ（長）（扉厚３６～４２mm用）

⚠ネジの締めすぎ注意
扉が割れたり、ケースを圧迫して動きが悪くなる場合があります。
※動作確認をしながら行ってください。

●KM-07
木ねじ
鎌錠ケースロック
角芯
⚠向きに注意
表示引手（表）
サムターン引手（裏）
取付けねじ
角芯-短（扉厚２８～３３mm用）
角芯-中（扉厚３３～３８mm用）
角芯-長（扉厚３８～４２mm用）
（KM07専用角座）

●施錠のチェック
① トリガーを押します。
② サムターンを回してください。
注）トリガーを押さえてなければ回りません。
（KM07も同様の確認をしてください。）

ストライクの調整方法（丸座・長座共通）

1. 前後調整
前後調整ネジをプラスドライバーで回し、隙間を調整します。

●初期設定 チリ［小］ 3.6
●調整最大 チリ［大］ 6.5
前後調整ねじ
調整板
プラスドライバー

2. 上下調整
フロント用木ねじを一旦緩め、受箱を上下に動かし調整します。位置が決まったら、フロント用木ねじを締付けて固定します。

●受箱可動時
●受箱固定時
4
受箱
フロント用木ねじ

表示器取付位置（丸座・長座共通）

●鎌を出した状態
表示 ″赤″
表示器すりわり″横″
サムターン″横″
赤
裏

●鎌を格納した状態
表示 ″白″
表示器すりわり″縦″
サムターン″縦″
白
裏

⚠ 注意

- ●取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。また取付け後、必ず動作確認をしてください。
- ●商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
- ●屋外など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などが腐食して、破損しやすくなりケガをするおそれがあります。

メンテナンスについて

- ●定期的に乾燥したやわらかい布で軽く拭いてください。（必要以上に強くこすらないでください。キズがつくことがあります。）また、汚れがひどい場合は、水または中性洗剤を水で5～１０%程度に薄めて浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ●ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品等は表面を痛めますので絶対に使用しないでください。※上記成分の含まれる除菌シート等もご使用にならないでください。

KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

50-0502Ⓢ No.017

必ず施工前にこの取付説明を読み正しく施工してください。

AC-774/784ドアキャッチャー施工・取付説明書

(本説明書は取付後も破棄せず、ワックスカバーと共にご使用者にお渡しください。)

設置条件：床と扉下部の隙間が１０～２０mmまでの対応。

特徴・動作(AC774)

① 扉を押すとバンパーが押され、リングが回転しキャッチ状態になります。

② キャッチ状態

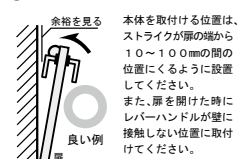
③ もう一度扉を押すとバンパーが押され、リングが回転しフリー状態になります。

④ フリー状態

※扉がしなって押しづらい時は足で軽く押すと楽に作動させることが出来ます。

⚠ 注意
ドアキャッチャーをご使用の際は必ず扉、レバーハンドル等に手を添えた状態で押し付けるようにご使用ください。

①取付けの位置決め

本体を取付ける位置は、ストライクが扉の端から１０～１００mmの間の位置にくるように設置してください。
また、扉を開けた時にレバーハンドルが壁に接触しない位置に取付けてください。

⚠ 取付位置注意
ドアキャッチャーをヒンジ側方向に取付けたり、壁際ギリギリの位置などに取付けますと扉のしなりでレバーハンドルが壁に接触することがありますので扉との余裕を見て検証しながら位置を決めてください。

悪い例
扉

②ストライクの取付け

取付位置が決まりましたら、ストライクの下端部を扉の端面に合わせての下段の長穴からビスを取付け、平行を出した後上段のビスを取付けてください。
(AC784の場合は、ベースからマイナスドライバー等でロックを解除し、ストライク部を外してから取付けてください。)

ストライクの調整について

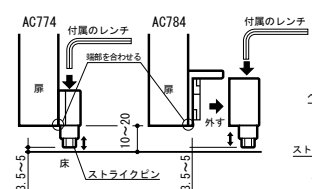
ストライク上部の穴に付属の六角レンチを差し込んで時計回りに押し回しますと、ストライクピンを下方向へ出すことができます。床からの高さを3.5～5mmに調整してください。
(AC784の場合はレンチで調整後、ベースに取付けてください。)

AC784の取付け
マイナスドライバー等で押す
ベース
ストライク
下にスライドさせ外します。
10～100mm以内
2 付属ビス
1 付属ビス
(先に取付けて位置の調整を行ってください。)

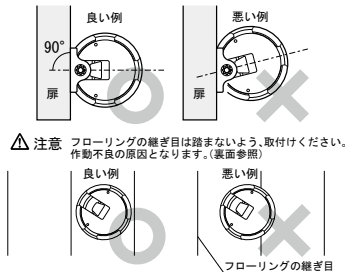
⚠ ストライクピンの向き

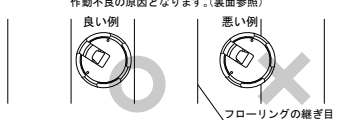
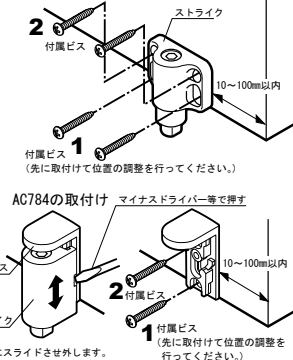
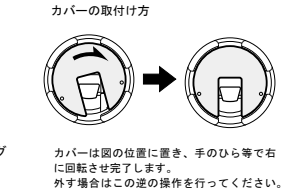
ストライクピンは縦方向にセットします。
横方向に取付けると、扉をキャッチした際に遊びが大きくなります。
(横方向の平面はレンチなどで高さ調整する為のものです。)

⚠ 注意
ストライクは垂直に取付けてください。

良い例　悪い例

③本体の取付け

ストライクの付いた扉を動かし、ストライク下部の突起がベースのバンパーに当たる位置で、取付け位置を決め、ベースをビスにて取付けます。
次にリングをはめ、カバーを(図1)に従ってはめてください。
※厚み１１mm以上の直貼り床材使用の際は直にビス止めしてください。
※直貼りで厚み１１mm未満の床材の場合は付属の長ビスとエビモンゴプラグをご使用ください。(裏面参照)
※カーペット敷きには専用(別売)のカーペットベースをご使用ください。

⚠ 注意 本体は扉に垂直に取付けてください。

⚠ 注意 フローリングの継ぎ目は踏まないよう、取付けください。作動不良の原因となります。(裏面参照)

カバー
リング
付属ビス
バンパー
ベース

⚠ 注意 電動ドライバーを使用する場合は最後まで締めこまず、手動ドライバーにて軽く締めてください。

カバーの取付け方

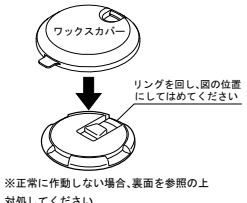
カバーは図の位置に置き、手のひら等で右に回転させ完了します。
外す場合はこの逆の操作を行ってください。

図1
カバーは手のひらで押しつけ回すと比較的楽に取外しができます。

④取付後の確認と養生

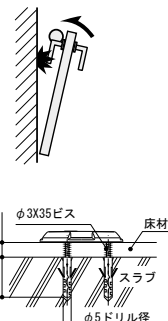
取付けが完了しましたら必ず動作確認を行ってください。

⚠ 注意 取付け完了後、リングが軽く回るか確認してください。軽く回らない場合は付属ビスを半回転位緩めると、改善出来ます。(緩ませすぎに注意)

⚠ 注意 確認が終わりましたら付属のワックスカバーを本体にかぶせて養生してください。

※正常に作動しない場合、裏面を参照の上対処してください。

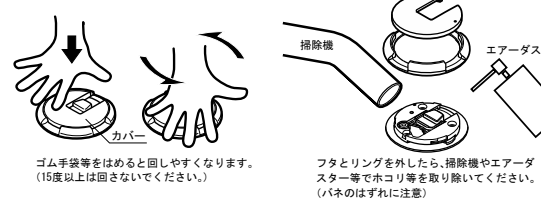
KAWAJUN
NO.008

⚠ 取付けに関するご注意

●ドアキャッチャーを取付ける際は、扉を開けた時にレバーハンドルが壁に接触しない位置に取付けてください。
扉のしなりでレバーハンドルが壁に接触することがあります。
●本製品はフローリング床に木ビスにて取付ける仕様となっています。
カーペット面には別売のアダプターをご用意ください。
●フローリングの継ぎ目をまたぐ位置に取付けないでください。
●直貼りでt11mm未満の床材の場合は付属の長ビスとエビモンゴプラグをご使用ください。
●コンクリート面直付けやタイル面にはご使用できません。
●屋外や浴室など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。
●電動ドライバーでビス止めする場合は途中までとし、最後は必ず手動ドライバーにてしめ込みを行ってください。

⚠ ご使用に関するご注意

●本製品施工後の耐荷重は押付方向40kgf、または(瞬間衝撃60Kg・m/s)引き方向50Kgfです。それ以上の荷重を加えますと、ストライクのピンが抜けてしまい、扉(ガラス戸)等が破損してケガをするおそれがあります。(60Kg・m/s＝12才以下の子供約25Kgの全身衝突による運動量としています。)
●本製品は必要以上の負荷が掛かると破損防止の為、ロックが外れるように設計されています。したがって強風時、玄関や窓からの風等でロックが外れる場合がありますので、ドアキャッチャーを使わず扉を閉めてください。
●製品の上に乗ったり、タンスや椅子等の重量物を乗せないでください。破損の原因になります。
●ワックスがけの際は、ワックスカバーをはめて養生をしてください。

◎お手入れの仕方

●定期的に乾燥したやわらかい布で軽く拭いてください。必要以上に強くこすらないでください。(キズがつくことがあります。)また、汚れがひどい場合は、水や水を中性洗剤で5~10%程度に薄めて浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
●ホコリや砂等により動きが悪くなった場合は、下図のようにカバーに手のひらを押し付け、強く押し込みながら時計と反対方向に15度回すと、フタが外れます。掃除後はシリコンスプレーで注油してください。

ゴム手袋等をはめると回しやすくなります。
(15度以上は回さないでください。)

フタとリングを外したら、掃除機やエアーダスター等でホコリ等を取り除いてください。
(バネのはずれに注意)

正常に作動しない場合のトラブル対応表

症状	対処
リングが回らない&回りにくい(通常リングは指で軽く回ります。硬いと思ったら調整願います。)	
①ワックスで可動部が固まっている。	●カバーを開け、リングを外して再度組付け、作動を確認します。大抵は動く様になりますが、動かない場合は交換になります。※ワックスカバーを付けることにより防止できます。
②内部のスプリングがはずれている。※カバーを開けた状態で操作すると稀に起こります。はずれたバネを元の位置に戻してから取付けてください。	●蓋を開け、スプリングを戻します。○正常な状態（バネ）　○バネが外れた状態（はずれたバネ）
③フローリングの継ぎ目をまたいで取付けられている。※本体が床の段差によりゆがんでいる事が考えられます。	●継ぎ目や段差を避けるか、取付けビスを半回転位緩めて調整してください。(緩ませすぎにご注意ください。)●ビスの緩めによる調整で解決できなかった場合は別売のカーペットベースや重ねたテープセロテープ等を底部に敷き水平を出します。
④取付け時にホコリやゴミが入った。	●蓋を開け、掃除機やエアーダスター等で清掃をしてください。※工期中はワックスカバーを付けておくことにより防止できます。
⑤ストライクが戸当りのバンパー部に当たっていない。	●適正な位置に取付け直してください。(おもに下記の原因です。)1. ストライクに対する本体の取付け位置がずれています 2. 扉に対する本体の取付け角度がずれています。3. ストライクの高さが合っていません。付属の六角レンチを使い高さを調整してください。
⑥カーペットに直付けしている。	●そのままカーペットに直付けはできません。別売の専用カーペットベースをご使用ください。
リングが最後まで回りきらない(設置後ワックスカバーを付けず、リングが途中位置で長時間放置されていた場合に起こります。)	
①リングにテンションを与えるバネにクセが付いている。	●リングをゆっくり回し、「カチッ」と音がした所で止め、2時間以上放置して頂くと直ります。※設置後ワックスカバーを付けておくことにより防止できます。
②バンパー部にホコリやゴミが入って戻りが悪い。	●蓋を開け、掃除機やエアーダスター等で清掃をしてください。※工期中はワックスカバーを付けておくことにより防止できます。
キャッチしたり、しなかったり安定しない(押し足りない時に起こります。)	
①扉がしなってしまい、レバーハンドルが壁に当たってしまっている。	●本体の取付け位置が適正でありません。壁より離し、扉の戸先端面方向に寄せて取付けてください。(ストライクの取付け参照)
②壁にレバーハンドルが当たっている。	●本体の取付け位置が適正でありません。壁より離して取付けてください。
③ストライクの取付け位置が合っていない。	●付属の六角レンチを使い、高さを調整してください。
作動時に異音がする(ゴミや砂等の侵入や変形により起こります。)	
①取付け時ホコリやゴミが入った。	●カバーを開け清掃をし、市販のシリコンスプレーで注油してください。
②床面がゆがんでいる。	●取付け場所を変えるか、取付けビスを半回転位緩めてください。それでも駄目な場合は、重ねたテープセロテープ等を底部に敷き水平を出します。

●上記以外のトラブルがございましたら、無理な分解等はやめて販売店へご連絡ください。

NO.005

主な取り扱い製品

レノホンダ木製サッシ…LENHOVDA
北欧パインを使用し、高い気密性·断熱性を誇るスウェーデン製回転窓。
ナチュラルなデザインで、光と風を取り入れることができます。

ユーロトレンドG 木製玄関ドア…EURO TREND G
ユーロトレンドGは、北欧品質の高い断熱·気密性能と、日本基準のセキュリティーを兼ね備えた木製玄関ドア。
専用URL　http://www.eurotrenddoor.jp/g/

ユーロトレンドドア…EURO TREND
ヨーロッパの高い品質とデザイン性をシステムドアとして完成させた、ヨーロッパモダンドア。先進のフォルムが住宅をおしゃれに彩ります。
専用URL　http://www.eurotrenddoor.jp/

gpドア…gp door
豊富なパネルデザインおよび樹種を取り揃えている木製室内ドア。
シンプルモダンからカントリースタイルまで幅広くインテリアコーディネートが可能です。
専用URL　http://www.gpdoor.jp/

アルミ遮熱材…ASTRO-FOIL
抜群の費用対効果を生む、純度99%、反射率97%のアルミ遮熱材。屋根を覆うことにより、36〜49%の減熱効果を発揮します。
専用URL　http://www.astrofoil.jp/

木質建材…WOOD DO? PANEL&FLOORING
北米·北欧·中国·東南アジア等世界の様々な国·地域の無垢内装材（壁材·床材等）や外装材を取り揃えております。
専用URL　http://www.mukuflooring.jp/

エコプレーゼ…ECO PRAISE
天然成分100%のドイツ製自然塗料「リボス」を使用したオリジナル無垢内装材。カラーバリエーションも豊富にご用意しております。
専用URL　http://www.mukuflooring.jp/

ウッドシェフ…WOOD CHEF
世界各国の銘木を日本の匠の技で料理したオリジナル建材です。

和美シリーズ…WABISERIES
長野県産赤松·ヒノキの化粧丸太に加え、様々な地域の国産材（杉·桧·唐松）を使用した構造材、内装材、デッキ材、天板等を取り揃えております。

ウールフル羊毛断熱材…WOOL FUL
ニュージーランド生まれのバージンウールの羊毛断熱材。断熱性能はもちろん調湿機能もある天然素材断熱材。

輸入木材…LUMBER
建築用から家具木工用まで幅広いニーズに対応し、世界各国からプロの目で厳選した良質の木材をお届けします。

このマークのある商品は、
下記のアドレスでCADデータをダウンロードできます。
http://www.virtual-house.net/

6月9日は無垢の日です。

プレイリーホームズ株式会社

名古屋　〒461-0004　名古屋市東区葵3-7-14 IMYビル7F
Tel.(052)930-7855 Fax.(052)930-7856

松 本　〒390-1131　長野県松本市今井野尻5031
Tel.(0263)50-3911 Fax.(0263)50-3912

URL　http://www.mukuflooring.jp/
URL　http://www.prairie.co.jp/

このカタログの印刷には、環境に配慮した植物油を使用した印刷インキを使用しています。

この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。